

レーザー加工機を用いた 県産材(地域材等)を使用 した木製品の試作開発と 生産・受注拡大事業

杉やヒノキを主力とした建築木材・構造材などの国産材を取り扱う従来の事業において、市場が縮小傾向にあった。国産木の良さをより多くの人に伝えていくための市場活性化に向けて、これまでの手作業では表現不可能だった微細な加工や、安定した品質の製品づくり、生産性向上・低コスト化の実現が不可欠。そこで、目的課題を解決するレーザー加工機を導入した。



01 取り組みの経緯

香川県をはじめ、四国4県や奈良県など近隣県産の木材を県内の小売業へ販売している当社。しかし、木材製品市場が縮小傾向にあったため、販路拡大や新規事業への参入を視野に国内外での展示会などに出展したところ、高い評価とともに、オリジナル製品などのニーズを得た。これを機に、新製品開発に着手するものの、コスト高やリードタイムの長さ、品質のバラつきなどの課題に直面。これら課題を解消する機械導入のために本事業を進めていった。

02 実施内容

導入したレーザー加工機で「ヒノキのランプシェード」を試作。イラストレーターで2Dや3Dのデータを作成し、木材を薄くスライスした突き板や、挽き板、角材などの材料で切り抜き、彫刻を行う。厚みによって強度が異なる「突き板」は従来通りだと強度が弱く破れてしまったため、一定の強度を保ち、組み立てもできる最適厚になるまで試作を重ねた。その後、耐久試験を実施し、結果分析と結果に基づく改善点の検証までを行った。



03 成果

レーザー加工機で試作した「ヒノキのランプシェード」の素材「突き板」のカットだけでも、これまでの手作業時間の1/30程度まで短縮。また、手作業時にしばしば発生するカットミスがないため、従来ほどの廃棄材が出なくなった。機械導入してから1年目は販路拡大や、新商品開発に試行錯誤していたが、作品を直に見ていただきながらの営業で技術PRにもなったおかげか、3年目頃からは大きく個人注文が増え、売上が増大していている。



天然木を使った商品づくり。 感触、香り、木目を楽しんでもらいたい 『Mokuichi- モクイチ -』

「木と人をつなぐものづくり」をテーマに温もりを感じていただける木製品作りを行っている『Mokuichi』。昭和40年代後半から植林されて育った香川県産ヒノキを製品材料の中心に製作。木材の良さは手触り、香り、木目の美しさです。1点1点同じものが一つとしてない一期一会であることは宝探しのようなワクワク感があります。

代表者メッセージ



取締役
樋口 一真

現代では自然と人との距離が広がりつつある。だからこそ、木と人をつなぐものづくりをしていこうと思う。

気軽に使える木材製品を広めていきたいという思いで、国内外の展示会へ出向き、直にユーザーニーズを頂戴するなどして新商品開発を進めています。その甲斐あってか、ネット通販で個人のお客様からのご注文も増えてきました。とは言え、ただ販売するだけではありません。「木とのふれあい」を体験できるワークショップも実施します。ぜひ、国産木の良さを実感していただきたいです。

企業情報

所在地	香川県高松市観光通2-10-15
TEL	087-833-2311
設立	1953年3月
代表者	樋口 哲也
業種	建築材料、鉱物、金属材料等卸売業
従業員数	19名
事業内容	木のレーザー加工、ノベルティグッズ・表札・看板・干社札・工作キットの製作、名入れ加工など